

EPM Systemインストーラ/EPM Systemコンフィグレータ・アクセシビリティ・ガイド リリース11.1.2.4

リリース 11.1.2.4

製作著作 © 2013, 2015

目次

はじめに	1
EPM SystemインストーラおよびEPM Systemコンフィグレータのアクセシビリティを使用可能にする	1
EPM SystemインストーラおよびEPM Systemコンフィグレータのキーボード同等操作	2
ドキュメントのフィードバック	3

はじめに

この付録では、Oracle Hyperion Enterprise Performance Management SystemインストーラおよびOracle Hyperion Enterprise Performance Management Systemコンフィグレータのアクセシビリティ機能について説明します。

オラクルのお客様は、My Oracle Supportを通じて電子サポートを得ることができます。詳細は、<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&ID=info>を参照してください。聴覚に障害のある方は、<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&ID=trs>を参照してください。

オラクル社のアクセシビリティへの取組みについては、Oracle Accessibility ProgramのWebサイト<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&ID=docacc>を参照してください。

EPM SystemインストーラおよびEPM Systemコンフィグレータのアクセシビリティを使用可能にする

EPM SystemインストーラおよびEPM Systemコンフィグレータのアクセシビリティ・バージョンを使用するには、これらをコンソール・モードで起動する必要があります。

▶ EPM Systemインストーラのアクセス可能バージョンを使用するには:

1. EPM Systemインストーラをコンソール・モードで起動します:

- (Windows) Windowsコンソールで、EPM Systemインストーラファイルを抽出したルート・ディレクトリに移動し、`installTool.cmd -console`と入力します。
- (UNIX) EPM Systemインストーラ・ファイルを抽出したルート・ディレクトリに移動し、`./installTool.sh -console`と入力します。



ヒント:

JAWSスクリーン・リーダー・ソフトウェアを使用していて、大きなテキスト・ブロック(アセンブリのリストやOracle Hyperion Enterprise Performance Management Systemインストーラのようなテキストなど)の読みあげを中止する場合、**[Ctrl]**を押します。プロンプト行を再度読み取るには、**[Insert] + [↑]**または**[↓]**を押します。ダイアログ・ボックス全体を再度読み取るには、**[Ctrl] + [5]**を押します。

2. プロンプトごとに、必要な選択内容の隣に数値を入力します。場合によっては、テキストを入力することも求められません。



ヒント:

[Enter]を押すと、デフォルトの選択内容をそのまま使用し、次のプロンプトに移動できます。デフォルトの選択内容は大きかっこに囲まれてプロンプトの末尾にあります。たとえば、「ヘルプ」は0、「次へ」は1、「取消し」は2、「再表示」は3を押します [1] のようになります。この場合、**[Enter]**を押すと、「次へ」を意味するオプション1が選択されます。

▶ EPM Systemコンフィグレータのアクセス可能バージョンを使用するには:

1. Oracle Hyperion Enterprise Performance Management Systemコンフィグレータをコンソール・モードで起動します:
 - (Windows) Windowsコンソールで、EPM_ORACLE_HOME/common/config/version_numberに移動し、configtool.bat -consoleと入力します。
 - (UNIX) EPM_ORACLE_HOME/common/config/version_numberに移動し、./configtool.sh -consoleと入力します
2. プロンプトごとに、必要な選択内容の隣に数値を入力します。場合によっては、テキストを入力することも求められません。



ヒント:

[Enter]を押すと、デフォルトの選択内容をそのまま使用し、次のプロンプトに移動できます。デフォルトの選択内容は大きかっこに囲まれてプロンプトの末尾にあります。たとえば、「ヘルプ」は0、「次へ」は1、「取消し」は2、「再表示」は3を押します [1] のようになります。この場合、**[Enter]**を押すと、「次へ」を意味するオプション1が選択されます。

EPM SystemインストーラおよびEPM Systemコンフィグレータのキーボード同等操作

この項では、次のプロンプトに相当するキーボード同等操作について説明します:

- ナビゲーション
- 製品の選択
- はい/いいえ

表1 キーボード同等操作

キー	アクション
0	<ul style="list-style-type: none"> ナビゲーション・プロンプトの場合 - 「ヘルプ」 ヘルプが、「コンソール」ウィンドウに表示されます。 製品選択プロンプトの場合 - 「選択」 はいいいえプロンプトの場合 - 「はい」
1	<ul style="list-style-type: none"> ナビゲーション・プロンプトの場合 - 「前へ」(ほとんどの場合) 製品選択プロンプトの場合 - 「選択解除」 はいいいえプロンプトの場合 - 「いいえ」
2	<ul style="list-style-type: none"> ナビゲーション・プロンプトの場合 - 「次へ」(ほとんどの場合) 製品選択プロンプトの場合 - 「展開」
3	<ul style="list-style-type: none"> ナビゲーション・プロンプトの場合 - 「取消し」(ほとんどの場合) 製品選択プロンプトの場合 - 「取消し」
4	ナビゲーション・プロンプトの場合 - 再表示(ほとんどの場合)、「ロード」または「保存」
[Enter]	<p>デフォルトの選択内容をそのまま使用し、次のプロンプトに移動します。</p> <p>デフォルトの選択内容は大き括弧に囲まれてプロンプトの末尾にあります。たとえば、「ヘルプ」は0、「次へ」は1、「取消し」は2、「再表示」は3を押します [1] のようになります。この場合、[Enter]を押すと、「次へ」を意味するオプション1が選択されます。</p>

ドキュメントのフィードバック

このドキュメントへのフィードバックをお送りください: epmdoc_ww@oracle.com

次のソーシャル・メディア・サイトでEPM情報開発をフォローできます:

- LinkedIn - http://www.linkedin.com/groups?gid=3127051&goback=.gmp_3127051
- Twitter - <http://twitter.com/hyperionepminfo>
- Facebook - <http://www.facebook.com/pages/Hyperion-EPM-Info/102682103112642>
- Google+ - <https://plus.google.com/106915048672979407731/#106915048672979407731/posts>
- YouTube - <http://www.youtube.com/user/OracleEPMWebcasts>

著作権情報

Oracle® Hyperion Enterprise Performance Management System Installer & Oracle® Hyperion Enterprise Performance Management System Configurator Accessibility Guide,

Copyright © 2013, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

著者: EPM 情報開発チーム

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS:

Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことによって起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel, Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD, Opteron, AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。